

海外時事情報 (三月六日)

歐洲ニ於ケル諸國稅務ノ變遷トイフモノハ、最近トシテノ效果

一、歐洲ノ二三ノ國々デハ、財產稅ヲ課スルヲ居ル。又現ニ財產稅ノ賦課

計畫シテキル國々アル。

此ノ思ヒ切ツタ措置ヲ計畫サレタノハ、インフレーションノ脅威ヲ乃テ止
過剩購買力ヲ吸收スル爲デアルコトハ、實ニ恐モナイガ、又夫ニ附隨
シテ戰時中ニ起ツタ資本價格ノ增加部分ヲ國庫ニ回收スルコトヲモ
目標トシテ居ル。

二、財產稅ノ徵收ガ行ハレル時ニ起ル主要ノ問題ハ、不動産ノ營業、乃至
會社證券カチ成立ツテ居ル財産ノ所有者ガ其ノ必與トスル現金ハ、調
達シヨウトスル場合デアル。彼等ハ必與テ現金ヲ調達スル爲ニ其ノ
資金ヲ賣却スルコトモ出來ルシ又其ノ目的ノ爲ニ銀行カラ資金ヲ借
リルコトモ出來ル。調達の少清算ハ價格ヲ下落サセラルデアラウ。殊
ニ他ノ多クノ者ガ同様ノ目的ヲ具ニ其ノ資金賣却シナケレバナラズ
而カモ夫ヲ買フベキ現金ヲ持ツテ居ル者ガ少ナイ場合ニ於テ特ニ然



リテアル。一方ニ於テ銀行カラノ借入ハ信用ヲ擴大スル從ツテ購買
 カノ正味ノ減少ハ起ラナイト言フコトニテラナ。

若干ノ國々ニ於テハ政府ハ財産稅ヲ支拂ハセル爲現物財産及證券類
 ヲ接收スル機關ヲ設ケタ。之ハ政府ヲシテ多クノ種類ノ營業及不動
 產ヲ獲得セシメタ。政府機關ノ手ニ依ル斯カル所有物件ノ清算ハ米
 國ニ於ケル餘剩物資處分問題ト同様ナ問題ヲ惹起セシメテ居ル。而
 シテ其ノ金額ハ豫想サレタヨリモ遙カニ少額デアツタ。

一 財産稅ニ關スル他國ノ思ハシクナイ經驗ハ丁抹ヲシテ此ノ種ノ計畫
 ヲ放棄スルコトヲ考慮セシメタ。ソシテ其ノ代リニ低率ノ割引率ヲ
 以テ個人及會社ニ對シテ政府ノ債務ヲ賣渡スコトニ依リ同一ノ結果
 ヲ舉ゲルコトガ計畫サレテ居ル。之ハ可能ナ場合ニハ過剩購買力ノ
 吸收ニ役立つデアラウ。公債ハ現金ヲ持ツテキル者ニ賣却サレルカ
 ラ、其ノ資産ガ流動資産ノ形デ存在シテ居ナイ爲ニ現金支拂ヲ爲シ
 得ナイ其ノ他ノ資産ノ所有者ニ對シテ税金ヲ課スルコトハ公平ノ問
 題トシテハ最早其ノ必要ハ無イ。

（三月六日附ジャーナル・オヴ・コマース紙）